



会長 佐々木 源 悦
 幹事 岩 渕 正 彦
 会報 江 川 元 徳 氏 家 良 典
 及 川 勝 永 布 施 孝 尚
 例会場 ホテルサンシャイン佐沼 ☎22-8180 FAX22-0327
 例会日 毎週木曜日 12:30~13:30
 事務所 ホテルサンシャイン佐沼 ☎22-8180 FAX22-0327

第2439回例会 2014. 2. 27 No.33

本日の出席率

・本日の出席率 82.14%

ニコニコボックス

- ・佐々木源悦会長 新入会員セミナー、八谷郁夫パストガバナー、新入会員の皆様ご苦勞様です。秋山茂夫会員のスピーチに期待します。
- ・菅原文之会員 秋山茂夫会員のスピーチを楽しみに今日は出席しました。妻の誕生祝いのお花ありがとうございました。唯一妻の誕生日を思い出す貴重な日です。
- ・鈴木彦太会員 ウジエスーパー様、環境大臣賞グランプリ最高賞受賞誠にありがとうございます。秋山茂夫会員のユニークな話題を楽しみにご期待します。
- ・布施孝之会員 ウジエスーパーさんの低炭素杯「環境大臣賞グランプリ」受賞おめでとうございます。秋山茂夫会員のスピーチに期待して。
- ・村上武彦会員 ウジエスーパーさん、低炭素杯「環境大臣賞グランプリ」受賞おめでとうございます。
- ・佐藤幸一会員 ウジエスーパー様「環境大臣賞グランプリ」受賞おめでとうございます。秋山茂夫会員のスピーチ大いに期待しております。
- ・山田直志会員 ウジエスーパーさんの低炭素杯「環境大臣賞グランプリ」受賞を祝して。本日、秋山茂夫会員のスピーチを楽しみに期待しています。
- ・佐藤静市会員 (株)ウジエスーパー様の環境大臣賞受賞おめでとうございます。本日のスピーチ、秋山茂夫会員2回目のユニークスピーチに期待して。
- ・遠藤光則会員 秋山茂夫会員に変更でスピーチをお願いし申し訳ございません。宜しくお願いま

- す。ウジエスーパーさん、低炭素杯「環境大臣賞グランプリ」受賞おめでとうございます。
- ・秋山茂夫会員 本日、ピンチヒッターでスピーチをすることになりました。よろしくお願ひします。
- ・及川富男会員 秋山茂夫会員のスピーチに期待しております。
- ・千葉正宏会員 春が近づいていますね。
- ・岩渕正彦幹事以下、秋山茂夫会員のスピーチに期待。
 佐々木崇会員 佐藤敬喜会員 氏家良典会員
 伊藤俊郎会員 高田次雄会員 高橋義文会員
 山田正会員 小野寺伸浩会員 富士原裕子会員
 武川毅会員 高橋利光会員
 以上、ありがとうございました。

会長要件 佐々木源悦会長

先週は、優良従業員及び地域善行者の表彰がありました。会員皆様のご協力により行うことが出来ました。ただ、青少年善行者表彰については、只野佳旦委員長、小竹秀敏副委員長が小・中・高と学校を廻って推薦をお願いしましたが、今年は該当者がいないということで残念ながら表彰はできませんでした。担当した職業奉仕、社会奉仕、青少年奉仕委員長に感謝致します。

2月20日(木)、午後6時から「小竹」に於いて、昨年度と今年度の新入会員セミナーが開催されました。新入会員8名全員とロータリー情報委員会の八谷郁夫委員長、高田次雄委員、猪股育夫副会長、私の12人が出席致しました。八谷郁夫委員長による約1時間のロータリーについての話の後、懇親会を持ち、色々な質問を受けたり、色々な形でロータリーを理解していただくためには良い雰囲気の中で話し合いが出来まし

た。こういったことを通して、新入会員にはロータリーに早くとけこんでいただきたいと思います。

幹事報告 岩渕正彦幹事

- ・日本事務局より、手続要覧が届く
- ・東日観光(株)より、世界大会の案内が届く
- ・共生医学研究所、鈴木俊之様より「卓話」「自主講演会」のテーマ及び講師派遣に関する案内が届く
- ・登米市環境課より第3回自然環境及び生活環境の保全・創造部会の開催の案内
 日時 3月6日(木) 午後2時~3時
 場所 登米市南方公民館 2階研修室
- ・劇団ドリーム・キッズよりドリーム・キッズ通信が届く
- ・3月のロータリーレート 1ドル=102円

今週のスピーチ

秋山茂夫会員

ソチオリンピックが終わりました。羽生結弦選手のルーツは浅水、米谷です。羽生選手のおじいちゃんは浅水の新田出身で米谷高の先生、おばあちゃんは米谷の割烹料理屋の娘さん、お父さんは米谷生れで佐沼高校出身で現在は教頭先生。身近な人であって米谷では「結弦君」と親しく呼ぶ人もたくさんおられます。浅田真央ちゃん、レジェンドの葛西選手、羽生君のショートは感激しました。他のオリンピック選手も感激ものでした。

さて、浪速大阪よもやま話とまいります。昭和51年4月から大阪仕入れが始まりました。現金仕入れです。難航します。現金仕入れは10年早いと父親によく言われました。何しろ全部キャッシュです。安く売るには現金仕入れです。

昭和52~53年頃、仕入れの大阪で仙北の金持の呉屋さんの息子さんに「秋山さん、あんた仕入れ面倒くさいなあ、すごい時間がかかっている。」「おれ、どんくさいから時間かかるんだよ。」心の中では自慢じゃないけど金がないんだよと…。必ず売れる物を仕入れて帰らなければならぬから時間がかかると思ってやっておりました。

大阪から嫁さんに「今日は当座はいくらあるのか」とよく聞きました。85万、じゃあ今日は50万かという仕入れでしたね。問屋の担当に「秋山はん、これどないでっか」と勧められるんですね。そしたら私も「うう〜ん」とうなって2分位頑張るんですね。返事きいへんだったと言われまして、5年後位に言いました。「あん時なあ、安くて良いんだけど金ないんだよ、だからうう〜んうなってそれだけだったんだよ」と。笑い話になりまして、今はその問屋さんから4億から5億位仕入れてますね。当時はほんとうに仕入資金のない時でした。

何で大阪仕入かと言いますと、大阪のメーカーや問

屋さんは競争をするんですね。A社は1,000円、B社は900円、C社は研究して頑張って850円。東京の間屋さんには、A社は1,000円、B社も1,000円、C社も1,000円と横並びです。競争しませんね。大阪にはアサント、京都はワコール、神戸のワールドと関西のメーカーはいっぱいあります。レナウンも大阪出身です。遡って、学生時代に3年生になってアパートに引越しました。同じ3年生2人と出会いました。1人は静岡三島、1人は大阪、広島福山出身で大阪守口のタクシー会社の息子。広島、大阪の先輩、従兄等広範囲な人々がいっぱいその部屋に寝泊りしました。4畳半です。みんな明るい体育会系、すぐに仲良くなりました。私も彼等の部屋をたずねます。ノックします。すると「おお!!、秋山、今日はええ服着てるな、どないしたんや」とくるんですね。しかし、私は東北ですから「やあー、そうでもないよ」この位しか言えませんでしたね。関西人というのは、そうやって中にすーと入れてくれるんですね。関西人独得の歓迎ですね。言葉の。

本格的に大阪の仕入れを始めたのは、昭和56年、セルフ大西、売上げ1,300億、1日現金で3億5,000万円の売上げです。この販売促進部に発注書を出します。結果を待っておりました。販売促進部の係井上さんが来ました。「秋山はん、全部売れ筋はずれておりましたので全部揃いました」そんなバカな話があるかと言いたくなりましたが、大阪ではそんなのりなんですね。面白いと思いました。

大阪地下鉄の本町駅の構内で、70代後半のおばあちゃんに(10m位離れておりました)大きな声で言うておりました。「あんた、どこまで歩かせるのよ。あんたのお蔭で靴へったわ。」こういうことが日常茶飯事、毎日が漫才なんですね、大阪は。ほんとうに面白いなと思いました。

でも、こちらも負けてはいません。私の友人で渡波の中川さん2つ年上です。私より若く見えます。大阪でタクシーに乗りました。2人で話しています。中川さんはそのまま、ずうずう弁、運転手が振り向いて「さっきから聞いてまっかだけど、ほんまになまってまんない」。岩手の友人はタクシーに同乗すると自分は標準語、中川さんには一切しゃべらせません。タクシーが遠回りするからです。

問屋でも中川さんのずうずう弁ですけれど「中川さん、この服どうでっか」「なんぼだっけ、そいつ、高けえだか安いんだかはっぱり分かんないなあ」「えー、はっばでっか、880円でっか、きついでんな」と、こうきます。「こちらのセーターはどうでっか」「おらいんではそんな高いは売れねえーんだ」こういった具合です。

私も最近は、コミュニケーションのため仕入れの時長話しになる時もあります。売れ筋の商品、値下げした商品、値打ちの商品、優先的に出して来てくれます。

— 以下、紙面の都合上割愛させていただきます。